

自県産クエの卵・精子を用いて稚魚生産に成功

平成20年、21年は他県より受精卵をもらい受け、稚魚生産を行っていましたが、今年度は和歌山県産のクエ親魚から採卵・採精を行い、この受精卵を用いて4万尾の稚魚生産に成功しました。これからは自県産のクエを用いて安定した種苗生産が可能となります。今年生産された種苗は8月11日以降下記日程で配布する予定です。配布後は各組合で中間育成され、試験放流されます。自県産のクエを放流できることから本県の海域環境に適応しやすいと考えられ、放流後の生き残りに期待がもてます。

配布予定

配布先	数量(尾)	配布予定日	配布場所
比井崎漁協	3,000	8月11日	水産試験場
由良町	2,000	8月11日	水産試験場
紀州日高漁協(本所)	2,000	8月中旬以降	水産試験場
紀州日高漁協(印南支所)	2,000	8月中旬以降	水産試験場
新庄漁協	500	8月中旬以降	水産試験場



県産クエの卵と精子を用いた人工授精



配布予定の稚魚

今後の予定

残ったクエ種苗については水産試験場にて増養殖試験を実施する予定です。

連絡先
和歌山県農林水産総合技術センター
水産試験場 (TEL 0735-62-0940)